

平成 21 年〇月

(事業主団体名) 殿

技能検定の社会に果たす役割の定量評価に関する調査の
ご協力をお願い

時下益々御清栄のこととお慶び申し上げます。職業能力開発行政の推進につきましては、平素より格別の御高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、厚生労働省では、社会的ニーズを踏まえた技能検定制度の一層の充実をはかるため、技能検定が社会に果たす役割(=社会的便益)を定量評価し、受検者数の少ない職種(直近6年間の平均受検者数が100名未満のもの)の統廃合を検討する上での判断材料とすることとしております。

今回の調査は、都道府県方式で実施する全ての技能検定職種に関し、様々な観点からの社会的便益のうちどの項目が重要視されているのかを明らかにすることで、技能検定制度の社会的便益の標準的な水準を設定することを目的としております。

また、受検者数の少ない職種に関しましては、本調査に加えて、後日ヒアリング調査を実施することにより、社会的便益を精査し、職種統廃合の検討につなげていくこととしております。

つきましては、業務ご多忙のところ誠に恐縮ではございますが、下記をご参考いただき、別紙の調査用紙にご記入下さい。なお、平成21年〇月〇日(〇)までにご返送くださいますようお願い申し上げます。

記

1 貴団体にご回答いただきたい職種名

(対象職種名)

2 ご記入に対しての注意事項

- ① 本調査は、貴団体に協力を得て実施している技能検定の職種に関する調査です。複数の職種に協力していただいている団体は、職種ごとにご回答ください。
- ② 質問の番号順にご回答ください。
- ③ 本調査に関して不明な点がございましたら、下記担当者までお問い合わせください。

厚生労働省 職業能力開発局 能力評価課
〒100-8916 東京都千代田区霞が関 1-2-2
TEL : 03-5253-1111 (内線 5944)
FAX : 03-3502-8932
担当 : 技能検定班 森岡、中西
nakanishi-sayaka@mhlw.go.jp

社会的便益に係る調査票（技能検定の全協力団体あて）（案）

団体名		電話番号	
ご担当者名		FAX番号	

問1～4について、お答えください。

問1 ○○職種の技能検定に関し、次の9項目について、その有益性の度合いに応じて、点数をつけてください。各項目の満点は10点です。

<採点基準>



<採点表>

項目	点数
① 業界における円滑な技能継承のため	
② 業界において、一定水準の品質を持つ製品を安定に供給するため（製品の製造過程で必要とされる部品、材料、原型、サービスなどの供給を含める。）	
③ 業界内の統一的な技能評価のため	
④ 企業の能力開発計画における目標設定のため	
⑤ 企業内における社員教育のため	
⑥ 企業の若手技能者の確保・定着のため	
⑦ 技能士現場常駐制度や他資格の受験資格付与などの技能士優遇措置のため	
⑧ 受検者が技能者としての自信を形成するため（例：自分の技能を磨くため など）	
⑨ 受検者が技能者としてのキャリア形成の一環に利用するため（例：転職に役立てる、昇級の目標設定にする など）	
合計	点

問2 ○○職種に関し、上記項目以外に、技能検定の有益性の高い事項がありましたら、ご記入ください。

問3 ○○職種の技能検定について、A～Eのうち当てはまるものに○をつけて下さい。

(1) 貴団体の会員企業において、技能継承に技能検定はどの程度活用されていますか。

ほぼ全ての企業で活用している	7～8割の企業で活用している	4～6割の企業で活用している	2～3割の企業で活用している	活用している企業はほぼない
A	B	C	D	E

(2) 貴団体の会員企業において、一定水準の品質を持つ製品を安定に供給するために、技能検定はどの程度利用されていますか。(製品の製造過程で必要とされる部品、材料、原型などの供給を含める。)

ほぼ全ての企業で利用している	7～8割の企業で利用している	4～6割の企業で利用している	2～3割の企業で利用している	利用している企業はほぼない
A	B	C	D	E

(3) 貴団体の会員企業において、業界内の統一的な技能評価として、技能検定はどの程度関係していますか。

全国規模の技能評価に関係している。	ブロック単位の技能評価に関係している	都道府県単位の技能評価に関係している	市町村単位の技能評価に関係している	グループ企業の技能評価に関係している
A	B	C	D	E

(4) 貴団体の会員企業において、企業の能力開発計画における目標設定として、技能検定はどの程度利用されていますか。

ほぼ全ての企業で利用している	7～8割の企業で利用している	4～6割の企業で利用している	2～3割の企業で利用している	利用している企業はほぼない
A	B	C	D	E

(5) 貴団体の会員企業において、企業内における社員教育に、技能検定はどの程度利用されていますか。

ほぼ全ての企業で利用している	7～8割の企業で利用している	4～6割の企業で利用している	2～3割の企業で利用している	利用している企業はほぼない
A	B	C	D	E

(6) 貴団体の会員企業において、企業の若手技能者の確保・定着の手段として、技能検定はどの程度利用されていますか。

ほぼ全ての企業で利用している	7～8割の企業で利用している	4～6割の企業で利用している	2～3割の企業で利用している	利用している企業はほぼない
A	B	C	D	E

(7) 技能士現場常駐制度や他資格の受験資格付与などの公的な技能士優遇措置はありますか。

優遇措置がある	優遇措置は特にない
A	B

(8) 貴団体の会員企業において、技能検定合格者に対して、手当・賞与において、優遇措置がありますか。

ほぼ全ての企業にある	7～8割の企業にある	4～6割の企業にある	2～3割の企業にある	該当する企業はほぼない
A	B	C	D	E

(9) 貴団体の会員企業に所属する労働者のうち、どの程度の方が技能検定合格の資格をお持ちですか。

ほぼ全ての労働者が保有している	7～8割の労働者が保有している	4～6割の労働者が保有している	2～3割の労働者が保有している	ほとんどの労働者が保有していない
A	B	C	D	E

(10) 貴団体の会員企業に所属する労働者で、技能検定を受検されている方のうち、どの程度の方が「自発的」に受検されていますか。

ほぼ全ての受検者	7～8割の受検者	4～6割の受検者	2～3割の受検者	ほとんどいない
A	B	C	D	E

(11) 貴団体の会員企業において、社内での昇級の指標として技能検定合格の資格はどの程度利用されていますか。

ほぼ全ての企業で利用している	7～8割の企業で利用している	4～6割の企業で利用している	2～3割の企業で利用している	利用している企業はほぼない
A	B	C	D	E

(12) 貴団体の会員企業において、熟練技能労働者の転職者の採用に、技能検定合格の資格はどの程度考慮されていますか。

ほぼ全ての企業で考慮している	7～8割の企業で考慮している	4～6割の企業で考慮している	2～3割の企業で考慮している	考慮している企業はほぼない
A	B	C	D	E

問4 我が国の安心・安全と安定した発展を確保するための観点から、〇〇職種の技能検定の有効性について当てはまる数字に○をつけて下さい。

(1) 消費者・国民の生活にとっての安心や信頼の確保のために、技能検定はどの程度有効とと思われますか。

非常に有効である	ある程度有効である	どちらでもない	あまり有効でない	有効でない
A	B	C	D	E

(2) 国の将来的な伝統産業の振興のために、技能検定が存在することは、どの程度有効とと思われますか。

非常に有効である	ある程度有効である	どちらでもない	あまり有効でない	有効でない
A	B	C	D	E

(3) 国の将来的な国際競争力・技術レベルの維持のために、技能検定が存在することはどの程度有効とと思われますか。

非常に有効である	ある程度有効である	どちらでもない	あまり有効でない	有効でない
A	B	C	D	E

ご協力ありがとうございました。